

令和4年春に授業について思い考えたこと「覚え書き」～その2

菊池 省三

【めざすゴールイメージ】

- 心理的安心感
- 意見には間違いはない
- 学び合う学習の基本的な考え方

1. 自分の言葉で意見を持たない子どもたち

自分の言葉で意見を語るべきだというが、

- ①自分の中に価値ある言葉がないと話せない
- ②話し方を知らないと話せない
- ③自尊感情が低いと話せない
- ④コミュニケーション量が少ないと話せない
- ⑤関係性が弱いと話せない
- ⑥プラス評価がされないと話せない
- ⑦意見には間違いがないことを理解できないと話せない

2. 意見を持たせる指導のステップ

①その後の話し合いにつながる問い（発問）を準備する

- ・ディベート
- ・ディベート的
- ・熟議
- ・介入

②立場を決めさせる

③理由を書かせる

- ・個人で
- ・ペアで

※その後は

- ・自由討論
- ・ディベート的話し合い
- ・子ども熟議
- ・ワールドカフェ方式

気になる子どもの実際

- 1. 正解のない問いへの意欲
- 2. 立場を決めることに躊躇
- 3. 理由を考えたがらない
- 4. 理由を1つ書いて満足
- 5. 友達と話し合えない
- 6. 「散歩」ができない
- 7. 感情的になる
- 8. 潔く変わらない
- 9. あえて屈しない
- 10. 即興力が弱い
- 11. ユーモアがない

3. 発言無し、誤答、に対しての言葉かけ

- ①世の中の科学の進歩、スタートは全て「分かりません」からだった
- ②悩んだ？考えてる？それでいい。学校は悩んで考える力をつけに来ているんだから
- ③そうか、そのような問いを出した先生が悪かった
- ④ありがとう。先生の～や～が悪かった。だから、先生は、「分かりません」と言ってくれたから、「ちゃんとしなさいよ」と教えられた。授業のやり方を教わったことになる。だから当然お礼を言わないといけない
- ⑤大丈夫。みんなが必ずフォローしてくれるから。そこで分かればいいんだからね
- ⑥意見には、正解や間違いはないんだ。ひとりひとり違うだけ。だから、君の「分かりません」もひとつの意見としてよい
- ⑦世の中は分からないだらけ。分かっていることはほんの一部。気にすることではない
- ⑧「分かりません」は知らないことを恐れないさわやかさがある。「できません」は違って悪い開き直り。君はさわやか、素直だ。成長の条件
- ⑨分からないから学んで分かりたい？ 向上心がある。知識欲がある
- ⑩後でもう一度聞くから、友だちの意見の中で一番近い意見を聞いて見つけてね。よく聞いていたね。正解がないから、今は自分の意見をこれから作っていけばいい
- ⑪話すということは自分を語ること。「分かりません」にも自分がある
- ⑫「正しい答え」を答えるばかりだったのに、急に自分の意見を聞かれてびっくりするよね。(⑩を)
- ⑬意見は全て「(仮)」なんだよね。話し合っってそこから成長させる。つまり、変わるもの。後で「(仮)」から自分の意見が持てるようになる。そこが大事で価値がある。期待しているよ
- ⑭なるほど。君がそう言ってくれたから、みんなが君も含めて全員で分かり合おうとするでしょう。全員がよくなるきっかけでもある。ありがとう
- ⑮よく答えられたね。もし自由に立ち歩いて友だちと交流していれば、おそらく君は自分の言葉で自分の意見を言えたかもしれない。そうではなくて、このみんなが座って聞いている状態で、よくぞ言えたね。そこがすごい

教師のパフォーマンスとセットにして「分かりません」をほめる

- ・拍手 ・握手 ・スキンシップ
 - ・全体への問いかけ ・ペアトーク
- (「～がすごいよね」「なぜ、すごいのでしょうか」「あんた分かるか?」)

4. 5分1の黒板を中心とした価値語

- ・意見は「仮」、考える→考え尽くす、ちがいは自分らしさ
- ・違いを出し合う教室、空気は人と人との関係、本気の教室